

災害から身を守るために

6月は梅雨の時期です！

「最近、雨量が多くて不安…」、「災害情報や避難情報は、どうしたら入手できるの?」、「避難方法は?」、いざという時のために、事前に情報を確認しましょう！

気象情報について知ろう

気 象 情 報

注 意 報： 今後の降り方に注意し、危険地区にお住まいの方・体の不自由な方は早めの避難を考えましょう。

警 報： 危険な状況です。早めに避難するなど命を守る行動をとりましょう。

特別警報： 「数十年に一度」のような、非常に危険な状況になっています。
ただちに町からの避難指示（緊急）・避難勧告に従い、少しでも安全なところに避難しましょう。

1時間の雨量	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10mm ～ 20mm未満	やや強い雨	ザーザーと降る	長く続くときは注意が必要
20mm ～ 30mm未満	強い雨	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる
30mm ～ 50mm未満	激しい雨	バケツをひっくり返し たように降る	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、 危険地帯では避難の準備が必要
50mm ～ 80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る (ゴーゴー降り続く)	地下室や地下街に雨水が流れ込む土石 流が起きやすい
80mm ～	猛烈な雨	息苦しくなるような 圧迫感がある	大規模な災害が発生するおそれが強く、 厳重な警戒が必要

災害情報・避難情報の入手方法

日頃から災害情報や避難勧告などの情報を取得できるよう準備しておくことが大切であり、これは災害時、皆さんが自ら迅速に避難行動できるように必要な情報です。情報の取得方法として、次のように海田町防災情報メールをはじめさまざまな方法がありますので、積極的に活用してください。

○海田町防災情報メール・防災情報電話
海田町では、住民の皆さんに、緊急の避難情報や地域の防災情報をメールで配信しています。
またメールを使えない人や、持っていない人には、電話・FAX にてメールと同じ情報の発信を行っています。

○海田町防災ラジオ
防災行政無線の放送を自動受信できます。
2,000円で配布しています。購入希望者は生活安全課まで連絡してください。

○広島県防災 WEB
最新の雨量や河川の状況、台風の進路などさまざまな気象・防災情報を調べることができます。

○NHK データ放送（d ボタン「防災・生活情報」のメニューを選択）
さまざまな気象・防災情報を調べることができます。

○高解像度降水ナウキャスト（気象庁 HP）
国や地方自治体が保有する全国の雨量計データなどを活用して、250m 解像度の降水分布を予測します。

○土砂災害危険度情報（土砂災害ポータルひろしま、気象庁 HP）
大雨で土壌が崩れやすくなっている場所を表示します。（NHK の d ボタンでも調べることができます）

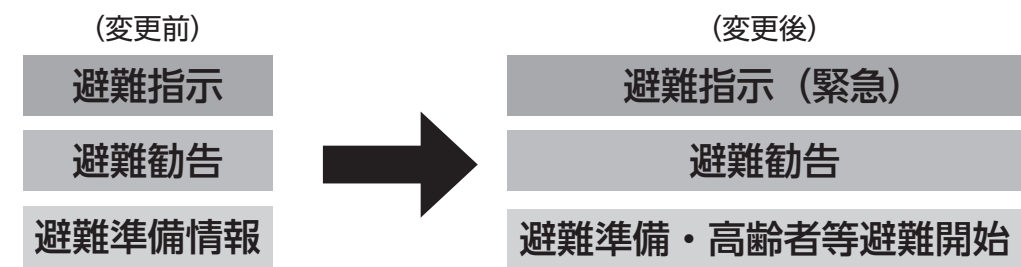
海田町防災情報メールの登録はこちらから

Eメール◆
bousai.
kaita-town@
raidan2.
ktaiwork.jp

「避難準備情報」などの名称変更について

「避難準備情報」の名称について、高齢者施設において、適切な避難行動がとられなかったことを重く受け止め、高齢者などが避難を開始する段階であるということを明確にするため、「避難準備情報」を「避難準備・高齢者等避難開始」に内閣府が名称変更しました。

さらに、「避難指示」の名称については、最も緊急性が高いことから、「避難指示（緊急）」に名称変更しました。



避難情報の種類と住民の皆さんがとるべき行動

- ★災害時または災害が発生するおそれがある場合に、町から町民の皆さんに「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」を発令する場合があります。どのような違いがあるかを事前に「知る」ことが重要です。
- ★町が避難情報を発令していない場合でも、危険を感じた時は早く安全な場所に自主避難してください。
- ★土砂災害や洪水などの危険がないかハザードマップなどで確認しましょう。

発令区分	立退き避難が必要な居住者等に求める行動
避 難 準 備 ・ 高 齢 者 等 避 難 開 始	・避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は、立退き避難する。 ・その他の人は立退き避難の準備を整えたとともに、気象情報等に注意を払い、自発的に避難を開始することが望ましい。 ・突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは、避難準備が整い次第、指定緊急避難場所へ立退き避難することが強く望まれる。
避 難 勧 告	・指定緊急避難場所に速やかに立退き避難する。 ・指定緊急避難場所への立退き避難はかえって危険であると自ら判断する場合は、「近隣の安全な場所」＊1 への避難や、「屋内での安全確保」＊2 を行う。
避 難 指 示（緊急）	・すでに災害が発生してもおかしくない極めて危険な状況となっており、指定緊急避難場所に緊急に避難する。 ・立退き避難はかえって危険であると自ら判断する場合は、「近隣の安全な場所」への避難や「屋内での安全確保」を行う。

- ＊1 近隣の安全な場所：近隣のより安全な場所・建物等
- ＊2 屋内での安全確保：その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動